

事務連絡
平成24年12月28日

関係者 各位

関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海・土壌肥料部会長 加藤直人

平成24年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議 関東東海・土壌肥料研究会の開催について

標記研究会の開催については別途公文でお知らせ致しております。下記のとおり実施致しますので、関係者のご出席と資料作成をお願い申し上げます。

記

1. 開催日時：平成25年2月19日(火) 9:00～16:30

(総合研究推進会議土壌肥料研究会と共催)

2. 開催場所：農林水産技術会議事務局筑波事務所・第1講義室、第2講義室

3. 研究会

1) 第1分科会 (9:00～12:00、第1講義室)

「土壌肥料研究の温故知新」

コーディネーター：農研機構・中央農研 駒田充生

①水田の窒素動態研究から SRI 稲作多収原理への挑戦

(国際農研センター 鳥山 和伸)

②普通畑、野菜畑及び水田の土壌肥料研究を振り返って

(農研機構・東北農研 土屋 一成)

③失敗は成功のもと。大豆研究から学んだ教訓

(農研機構・東北農研 田村 有希博)

2) 第2分科会 (9:00～12:00、第2講義室)

「土壌窒素肥沃度の分子科学」

コーディネーター：農研機構・中央農研 松永俊朗

①土壌有機態窒素の分子化学～地力窒素の実体解明を目指す試み

(農研機構・中央農研 森泉美穂子)

②地下圏の窒素の分子科学と生物地球化学プロセス

(海洋研究開発機構 高野淑識)

③土壌窒素の動態に影響を及ぼす「〇〇効果」に関する考察

(京都大学大学院農学研究科 森塚直樹)

3) 第3分科会 (13:30～16:30、第1講義室)

「関東東海都県における重点課題」

コーディネーター：農研機構・中央農研 新良力也

※なお、分科会テーマ、講演タイトルについては、変更される可能性があります。

4. 提出資料、締め切り日

1) 研究発表申し込み

第3分科会では計9課題程度の研究発表・意見交換を予定しています。希望する**発表課題名、発表者氏名、機関名、部署名**（各都県1課題以内）を**1月11日（金）までに**部会事務局 rikiya@affrc.go.jp へお知らせください。

2) 発表時間割

発表していただく時間割については、1月18日までに部会事務局より通知いたします。各課題の発表時間は、全課題数に応じて調整いたしますが、質疑を含め20分程度を予定しております。

3) 発表要旨資料

特定の様式は定めません。A4縦置きで余白を各々25mm以上としてください。

資料はメール添付ファイルとして、**2月7日（木）までに**、部会事務局 rikiya@affrc.go.jp へ提出してください。

5. 部会情報交換会

土壌肥料部会の情報交換会を開催します。

日 時：2月19日（火）、17：30～

場 所：筑波事務所共同利用施設食堂

参加費：3,000円

6. 参加申し込み

添付（本文書3ページ目）の申込書に必要事項を記入し、所属ごとに取りまとめのうえ、**1月11日（金）までに**部会事務局 rikiya@affrc.go.jp に提出してください。

7. 若手の会

11月5日に開催しました関東東海北陸農業試験研究推進会議において、都県からの要望事項として、若手研究者が意見交換できる場の設定が提案されました。そこで、昼休み時間に若手の会立ち上げについての話し合いを行います。関心のある方は積極的にご参加下さい。詳細は後日、中央農業総合研究センターの担当者から連絡致します。

8. 参集範囲

関東東海都県試験研究機関、独法試験研究機関（農環研、国研センター）、農研機構（本部、内部研究所）、その他土壌肥料部会長が認めた者

9. 部会事務局

中央農業総合研究センター土壌肥料研究領域 新良力也

TEL：029-838-8527 FAX：029-838-8484（共用）

E-mail：rikiya@affrc.go.jp

〒305-8666 つくば市観音台3-1-1

平成24年度関東東海・土壌肥料研究会
参加申込書(締め切り平成25年1月11日)

場所名:

所属	氏名	性別	役職	電話番号	*1 宿泊 2/19	*2 情報 交換 会

*1 筑波事務所研修生宿泊施設(2月19日夜)を手配致します。必要な方は○を記入してください。
*2 情報交換会(2月19日 17:30～、会費 3000 円)を筑波事務所食堂で開催致します。参加を希望される方は○を記入してください。